

研修運営のトータルサポート

時代の変化に備え「教職員研修eラーニング」を
研修教材としてご検討ください。

教職員研修 eラーニング コースガイド

■ 教職員のための情報セキュリティの基礎

■ 先生のための情報セキュリティ対策

■ 教職員のための情報セキュリティ最新脅威

■ 教職員のための個人情報保護の基礎

■ 教職員のための著作権の基礎

■ 大学教職員のためのアカハラ対策（教員向け）

■ 大学教職員のためのパワハラ対策（職員向け）

NetLearning®
株式会社ネットラーニング

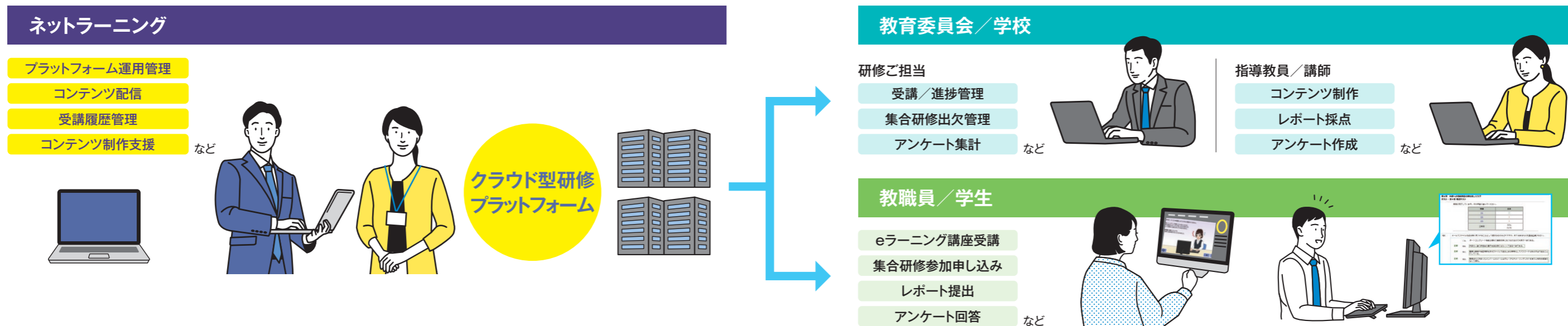
教職員研修 eラーニング

コースガイド

教職員eラーニング研修なら、ネットラーニング

いま学校では、授業でのICT活用やデジタル化が急速に進んでおり、情報セキュリティや個人情報、著作権の保護など、ITリテラシーをもって指導することが不可欠となってきています。
そこで、学校現場で注意すべきポイントや対策をまとめたeラーニングをご用意いたしました。
一度研修した内容であっても、時間の経過とともに記憶が薄れるだけでなく、新たに情報が更新され続けていくために、継続的な研修が大切です。
時代の変化に備え、「教職員研修eラーニング」を研修教材としてご検討ください。

クラウド型サービスなので、システム運用・管理はいっさい不要です。今すぐに、eラーニング研修がはじめられます。



研修運営のトータルサポート

研修の企画から運營業務、研修後の総括・評価まで、ワンストップでお任せいただけます。

受講IDの発行だけでなく、受講状況に応じた、受講者への開講通知メールや受講期間中の学習促進メールも当社から配信します。

受講中のお問い合わせも対応しておりますので、研修実施の業務軽減にお役立てください。



ICT活用教育に必須のコースラインナップ

●受講期間:6ヶ月 ●閲覧期間6ヶ月
※閲覧期間とは受講期間後、内容確認のみ可能な期間です。
テストなどの解答はできません。

●モバイル(タブレット端末)でも学習可能
※スマートフォンについてはお問い合わせください。

コースサンプル
https://www.netlearning.co.jp/service/school_ho.asp
詳しくはQRコードからアクセス▶



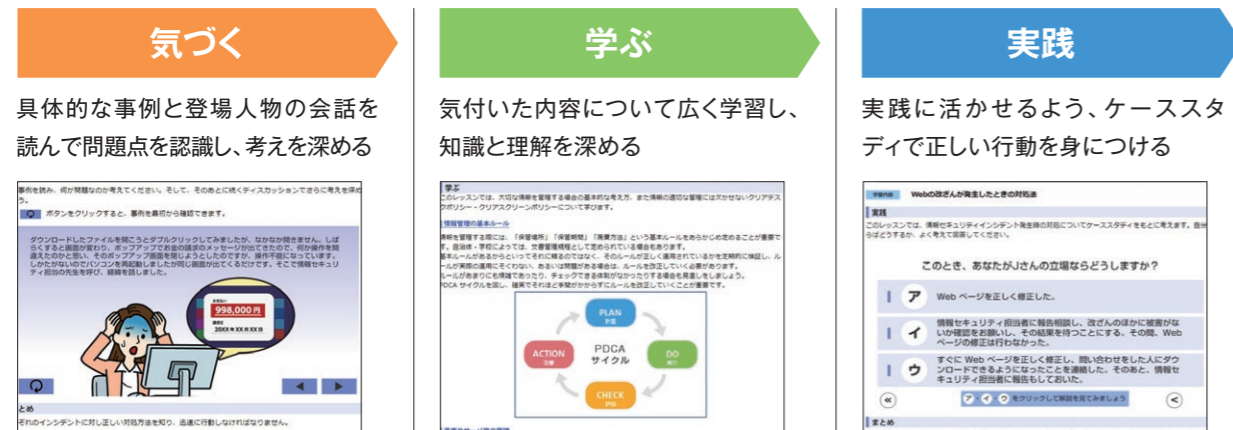
研修目的	コース名	学習時間	概要
教職員向け 初年度基礎研修	教職員のための情報セキュリティの基礎 【日本語版／英語版】 P.5	1時間	教育現場で起きた実例をもとに、情報セキュリティの基本からリスク、情報漏えい時の対応などを学習。
小中高校の教職員向け 基礎研修	先生のための情報セキュリティ対策 —GIGAスクール対応版— P.6	1時間	教育情報セキュリティガイドラインの概要と教職員が学校現場で必要とされる知識・実践的な対策などを学習。
2年目以降の 継続研修	教職員のための情報セキュリティ最新脅威 2022年度版 P.6	30分	標的型攻撃、ランサムウェアなど情報セキュリティの最新動向と、その防止策・対処法について学習。

研修目的	コース名	学習時間	概要
基礎知識の定着 法改正対応	教職員のための個人情報保護の基礎 【日本語版／英語版】 P.7	1時間	個人情報とは何か、個人情報の取得・利用・管理、開示請求や情報漏えい時の対応までを学習。
基礎知識の定着 法改正対応	教職員のための著作権の基礎 (改正著作権法対応) P.8	1時間	教育現場での事例を通し、著作権法の基礎知識を学び、著作物の有効活用を目的にしたコース。
大学・専門学校向け ハラスメント研修	大学教職員のための アカハラ対策／パワハラ対策 (教員向け) (職員向け) P.9・10	1時間	教員と学生、職員と学生の間で起こりうる事例を交え、学生との関わり方や適切な対応について学習。

受講者数No.1のeラーニングコースを提供するネットラーニングが考える
学習効果の高いラーニングデザイン

気づき、学ぶ、実践のステップアップ設計

コースでは、具体的な事例をもとに自分の行動をシミュレートしながら学習します。
学習を通じて、自ら気づき、正しい知識を身につけ、考え方を見直し、正しい行動に導く設計となっています。



充実の学習機能

セルフチェック

- 自分の現状を客観的に確認してから学習を開始。
- 管理者画面で受講者の回答が確認可能。

レッスンワーク

- 学校現場での具体的な事例をもとに、自分の行動に当てはめながら学習。

確認テスト

- 章ごとに正しい知識が定着しているかチェック。

コースポイント集

- PDFファイルにポイント集を収録。
- ダウンロードし、復習教材として活用可能。

簡単カスタマイズでオリジナルコースに

- アンケート項目の変更
 - 学内で発生したインシデント内容や学長/校長のメッセージの追加
 - コース修了基準の変更
 - 受講促進メール配信の頻度・日時の指定
 - Moodleなどの学内サーバや自治体サーバでご利用いただけるSCORM1.2対応 など
- その他カスタマイズも可能です。詳細はお問い合わせください。個別にお見積りいたします。

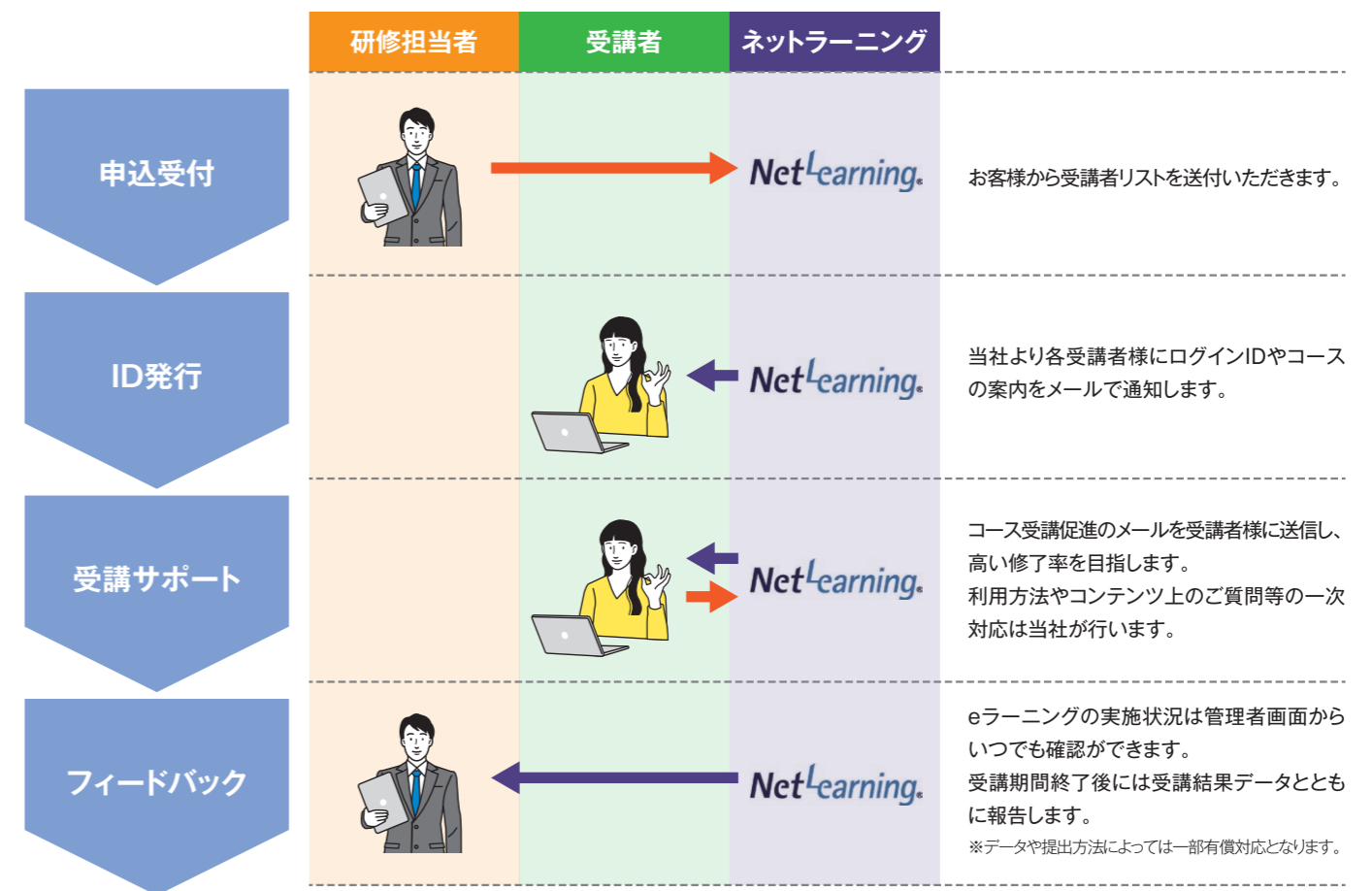
アカデミック価格やボリュームディスカウントプランをご用意

アカデミック価格やボリュームディスカウントプランなどご用意しておりますので、
料金についてはお気軽にお問い合わせください。

- アカデミック価格の適用の範囲は、学校に在籍する生徒・学生および教員・事務職員とします。
- 学校とは、学校教育法第1条および第124条で定められた学校とします。



登録から開講の流れ(基本プラン)



学校/校内システムとのシングルサインオンによるID連携も可能です。※別途お見積りいたします。
最短で申込から3営業日後の開講となります。
受講料には、コース受講のほか、受講者・研修管理者ID/パスワードの登録・発行・通知、受講者・管理者からの問合せ対応、学習促進メール通知、管理者機能の提供、すべてが含まれます。

受講状況はいつでも確認

学習進捗状況を把握することだけでなく、CSV形式で受講データをダウンロードでき、受講結果の分析や効果検証にご活用いただけます。

学習進捗データ(例)									
項目	受講者名	ユーザID	コース名	ログイン回数	初回ログイン日時	最終ログイン日時	学習進捗率	確認テスト正答率	修了日時
データ例	ねっと太郎	NET000001	情報セキュリティ	7	2021/4/1	2021/4/28	50%	50%	2021/4/28

修了状況

全体としての
取り組み傾向が分かる

満足度

最後に実施するアンケートから、
講座への満足度が把握できる

知識・スキルの習得度

学習成績やアンケート結果から、
知識・スキルの習得状況を把握できる

取得可能データ
所属名、受講者名、ユーザID、コース名、受講開始日、受講期限、初回ログイン日時、最終ログイン日時、セルフチェック集計、受講進捗率、テスト解答数、テスト進捗率、テスト回答内容、修了日時、コースレビュー(アンケート)集計、ログイン回数、学習時間、グループ名 など

教職員のための 情報セキュリティの基礎

「情報セキュリティで守るべきものは何か」といった基本的なことから、情報セキュリティポリシーを守ることの重要性、パソコンの利用や媒体の持ち出し、情報の保管や廃棄に伴うリスク、情報漏えい時の対応までを学習します。教員・職員ともに全員が身につけておきたい、基本的な情報セキュリティの知識と実践をまとめたコースです。初めて情報セキュリティ研修を実施する先生方におすすめのコースです。



対象者 教員、事務職員

受講期間 6ヵ月（+閲覧期間6ヵ月）

標準学習時間 1時間程度

前提知識 特になし

目次

イントロダクション

セルフチェック1 情報セキュリティ対策は万全ですか？

第1章 情報セキュリティとは何か

- レッスン1 気づく(情報セキュリティで守るべきもの)
- レッスン2 学ぶ(情報セキュリティに必要なこと)
- レッスン3 実践(ソフトウェアの利用)

第2章 パソコンの利用にともなうリスク

- レッスン1 気づく(パソコン利用時のリスク)
- レッスン2 学ぶ(パソコンを利用する際に注意すべきこと)
- レッスン3 実践(ウイルス対策のポイント)

第3章 媒体の持ち出し・外出先でのリスク

- レッスン1 気づく(大学・学校の外で注意すべきこと)
- レッスン2 学ぶ(大学・学校の外でのさまざまなリスク)
- レッスン3 実践(出張先での公衆無線LAN利用)

第4章 保管や廃棄の注意点、クリアデスクポリシー

- レッスン1 気づく(情報を管理する際のリスク)
- レッスン2 学ぶ(保管や廃棄の注意点、クリアデスクポリシー)
- レッスン3 実践(情報の廃棄)

第5章 漏えい時の注意点、情報セキュリティ改善・強化の重要性

- レッスン1 気づく(ルールを無視した行動で高まるリスク)
- レッスン2 学ぶ(情報セキュリティの改善・強化の重要性)
- レッスン3 実践(情報漏えいに対する初動対応)

セルフチェック2 「もしものとき」に備えよう

- 各章末まとめ・確認テスト、総合テスト
- 付録:コースポイント集、チェックリスト
- コースレビュー(受講後アンケート)

監修者コメント

大学の業務や研究では、個人情報保護や情報セキュリティの順守が重要です。しかし、多くの間違いは、個人情報保護や情報セキュリティに関する知識を持たず、自分のカンと経験で判断している場合に起こります。本コースで、情報セキュリティの正しい知識をしっかりと身につけて、コンプライアンスに沿った業務、研究を行える教職員になりましょう。

九州大学
サイバーセキュリティセンター長
教授 岡村 耕二



理解度
チェック

1
気づく

2
学ぶ

3
実践

理解度
チェック

先生のための 情報セキュリティ対策

—GIGAスクール対応版—

対象者	小中高校の教員、事務職員
受講期間	6ヵ月（+閲覧期間6ヵ月）
標準学習時間	1時間程度
前提知識	特になし

文部科学省から「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が公表され、自治体ではこれを参考に、児童・生徒・保護者・教職員や学校を「脅威」から守る対策を講じなければなりません。本コースでは、具体的に教職員が何を行い、何をやってはいけないかを、ケーススタディを通して、基礎知識から実践的な対策までを学びます。



目次

イントロダクション (ガイドラインの概要と解説)

セルフチェック1 情報セキュリティ対策は万全ですか？

第1章 機微情報の保管と管理

- レッスン1 気づく(機微情報を正しく保管し管理しているか)
- レッスン2 学ぶ(保管や管理方法)
- レッスン3 実践(機微情報の管理)

第2章 児童生徒などが機微な情報にアクセスするリスク

- レッスン1 気づく(パスワードの漏えい)
- レッスン2 学ぶ(アクセス権限のない者からのアクセス対策)
- レッスン3 実践(機微情報や端末、パスワードの管理運用方法)

第3章 インターネット利用におけるセキュリティリスク

- レッスン1 気づく(悪質サイトへのアクセス)
- レッスン2 学ぶ(インターネット上の脅威)
- レッスン3 実践(インターネットアクセス上の留意点)

第4章 外部への情報資産の持ち出しリスク

- レッスン1 気づく(コンピュータや記録媒体の持ち出し)
- レッスン2 学ぶ(外部へ機微情報を出すリスク)
- レッスン3 実践(情報を持ち出す場合の留意点)

第5章 情報セキュリティインシデントが起こった場合の対処

- レッスン1 気づく(インシデントが発生した場合の行動)
- レッスン2 学ぶ(対処ルール策定と対応体制)
- レッスン3 実践(初動で被害を最小限にとどめる)

第6章 1人1台端末におけるセキュリティ

- レッスン1 気づく(学外での利用を考慮したセキュリティ対策の課題)
- レッスン2 学ぶ(1人1台端末、1人1アカウントの実現におけるセキュリティ対策の再構築)
- レッスン3 実践(クラウドなどいろいろなシステムを利用する際のルール)

セルフチェック2 「もしものとき」に備えよう

- 各章末まとめ・確認テスト、総合テスト
- 付録:コースポイント集、チェックリスト
- コースレビュー(受講後アンケート)

教職員のための 情報セキュリティ最新脅威

2022年度版

対象者	教員、事務職員
受講期間	6ヵ月（+閲覧期間6ヵ月）
標準学習時間	30分程度
前提知識	特になし

最近、「標的型ランサムウェア」や「RaaS」の出現など、最新の脅威が増え続けています。ほかにもフィッシング詐欺やスマートフォン利用などの最新動向について、ケーススタディをもとに対策を学びます。情報セキュリティ研修2年目以降の継続研修に最適です。

目次

イントロダクション

セルフチェック1 情報セキュリティ対策は万全ですか？

第1章 標的型攻撃

- レッスン1 気づく(なりすましメールからの感染)
- レッスン2 学ぶ(標的型攻撃について)
- レッスン3 実践(標的型攻撃への対策)

第2章 ランサムウェア

- レッスン1 気づく(Webサイトへのアクセスからの感染)
- レッスン2 学ぶ(ランサムウェアについて)
- レッスン3 実践(ランサムウェアへの対策)

第3章 その他の脅威

- レッスン1 事例・学ぶ(スマートフォンの利用)
- レッスン2 事例・学ぶ(SNSを使った脅威)
- レッスン3 事例・学ぶ(紛失・盗難への対応)
- レッスン4 事例・学ぶ(テレワークにおけるセキュリティ)

セルフチェック2 「もしものとき」に備えよう

- 各章末まとめ・確認テスト、総合テスト
- 付録:コースポイント集、チェックリスト
- コースレビュー(受講後アンケート)

監修者

識典大学現代教育研究所
客員研究員 竹中 章勝

教職員のための 個人情報保護の基礎

対象者	教員、事務職員
受講期間	6ヵ月（+閲覧期間6ヵ月）
標準学習時間	1時間程度
前提知識	特になし

個人情報に該当する情報は何か、個人情報の取得・利用・管理、開示請求や情報漏えい時の対応までの必須項目を網羅し、短時間で正しい知識を身につけ、適格な行動へと導くコース設計となっています。児童、生徒の成績情報など、個人情報を取り扱う教職員の方に、情報セキュリティとセットで一度は学んでいただきたいコースです。



目次

- イントロダクション
 - セルフチェック
- 第1章 個人情報の定義と重要性
 - レッスン1 気づく(守るべき個人情報の認識)
 - レッスン2 学ぶ(個人情報とは) 個人情報分類ゲーム
 - レッスン3 実践(個人情報漏えいの危険性)
- 第2章 個人情報の取得
 - レッスン1 気づく(取得の際の注意点)
 - レッスン2 学ぶ(取得の際に必要な手続き)
 - レッスン3 実践(不正な取得)
- 第3章 個人情報の利用
 - レッスン1 気づく(利用目的の範囲)
 - レッスン2 学ぶ(利用の際の注意点)
 - レッスン3 実践(利用目的の変更)
- 第4章 個人情報の取り扱い(管理)
 - レッスン1 気づく(個人情報の適正な管理)
 - レッスン2 学ぶ(個人情報の管理と廃棄)
 - レッスン3 実践(委託先の監督)
- 第5章 問い合わせや漏えいへの対応
 - レッスン1 気づく(個人情報に関する問い合わせへの対応)
 - レッスン2 学ぶ(開示等の対応、情報漏えいと法的責任)
 - レッスン3 実践(漏えい時の対応)

セルフチェック

- 各章末まとめ・確認テスト、総合テスト
- 付録:コースポイント集、チェックリスト
- コースレビュー(受講後アンケート)

1

気づく

2

学ぶ

3

実践

監修者

九州大学
サイバーセキュリティセンター長
教授 岡村 耕二

教職員のための 著作権の基礎

(改正著作権法対応)

対象者	教員、事務職員
受講期間	6ヵ月（+閲覧期間6ヵ月）
標準学習時間	1時間程度
前提知識	特になし

教育現場でのよくある事例を通し、公衆送信に関わる法律改正点を踏まえて、著作権について適切に判断するためのポイントを確認します。また、著作権制度の基礎知識を学ぶことで、リスクを回避するだけでなく、著作物の有効活用や、児童・生徒・学生への適切な指導につなげることを目的としています。



目次

- イントロダクション
 - セルフチェック
- 第1章 著作権制度の基礎知識
 - レッスン1 著作権制度とその目的
 - レッスン2 著作権で保護される対象
 - レッスン3 著作者に付与される権利
 - レッスン4 保護期間
 - レッスン5 著作権契約
- 第2章 教育現場での著作権(1) 著作物を複製し、公衆送信する
 - レッスン1 教育機関とは
 - レッスン2 授業の過程とは
 - レッスン3 複製とは
 - レッスン4 公衆送信とは
 - レッスン5 複製できない著作物
 - レッスン6 複製できる量
 - レッスン7 複製できる者
 - レッスン8 引用の方法
- 第3章 教育現場での著作権(2) 著作物を公衆送信する
 - レッスン1 教育機関での公衆送信の扱い
 - レッスン2 公衆送信ができる著作物
 - レッスン3 公衆送信ができる場合
 - レッスン4 公衆送信ができる相手
- 第4章 教育現場での著作権(3) 著作物を試験問題に使う
 - レッスン1 試験問題としての複製・公衆送信
 - レッスン2 著作物を入学試験問題集に使う
 - レッスン3 著作物をオンラインでの定期試験問題に使う

セルフチェック

- 各章末まとめ・確認テスト、総合テスト
- 付録:コースポイント集
- コースレビュー(受講後アンケート)

1

気づく

2

学ぶ

3

実践

情報セキュリティ／個人情報保護研修プラン

初年度の研修では、基礎から実践まで網羅できるコースを、2年目以降は最新情報をコンパクトに学べるコースをご提案します。対象者別にコースを設定することも可能です。

受講対象	研修1年目	研修2年目	研修3年目
全教職員	情報セキュリティの基礎	最新脅威2020年度版	最新脅威2021年度版
新任教職員	教職員のための情報セキュリティの基礎／教職員のための個人情報保護の基礎		

※最新脅威コースは、その年度ごとの情報セキュリティ動向について学べるコースで、年度ごとに内容が更新されます。

授業目的
公衆送信
補償金制度に
対応！

コース改訂内容(一部抜粋)

- 2021年1月1日より、違法ダウンロードの適用範囲が拡大されたことをうけて、「**侵害コンテンツのダウンロード違法化**」の学習項目を追加しました。
- 2021年4月1日より、授業目的公衆送信補償金制度の運用が開始されたことに合わせて、**公衆送信に関する制度自体の基礎知識と教育現場で起こりうる問題点を洗い出し、事例学習を刷新**しました。

大学教職員のためのアカハラ対策 (教員向け)

大学教職員のためのパワハラ対策 (職員向け)

対象者	教員、事務職員
受講期間	6か月 (+ 閲覧期間6か月)
標準学習時間	1時間程度
前提知識	特になし

学習目標

- 大学などの高等教育機関で起こるハラスメント(アカハラ、パワハラ、セクハラ)の種類や背景について理解します。
- ハラスメントが起きた場合の影響を理解します。
- ハラスメントのない環境をつくるために必要な知識を持ちます。



オンライン授業でもコミュニケーションは取れていますか？ これはハラスメント？ 何が問題？ どう防ぐ？

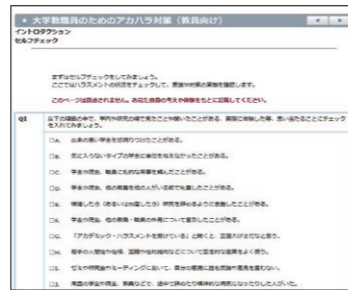
オンライン授業が増え、相手の反応が見えづらい中では、今まで以上の配慮が必要になります。このコースでは、教職員が意図せず加害者になることのないよう、教育現場で起こるハラスメントについて事例を通して学習し、ハラスメントを身近な問題として捉えることで、適切な行動を理解することを目指します。

本コースのポイント

POINT 01 これはハラスメント？

セルフチェックでハラスメントリスクの可視化ができる！

自身の言動について振り返り、自分でも気付いていないハラスメントについての意識や対策の実態をチェックできます。



POINT 02 実際どうしたらいい？

教育現場に基づく事例で学ぶから意識が変わる！

自身の言動を振り返りながら、行動変化を促します。

1. 具体的な事例から
2. ハラスメントが与える影響について学びます。
3. 研究室や職場で気を付けるポイントをお伝えします。



POINT 03 オリジナルの内容を追加したい！

学校ごとにカスタマイズ可能！

内容の一部を変更したり、自学規定に合わせたケーススタディ、確認テストを追加するなどカスタマイズが簡単にでき、短期間・低コストでオリジナルコースが作成可能です。



コース概要

大学教職員のためのアカハラ対策 (教員向け)

目次

イントロダクション

セルフチェック

(職場でアカハラ・セクハラをしていませんか?)

第1章 アカデミック・ハラスメント

- レッスン1 アカデミック・ハラスメント(アカハラ)とは
- レッスン2 アカデミック・ハラスメントの種類
- レッスン3 アカデミック・ハラスメントの影響
- レッスン4 アカデミック・ハラスメントの事例

確認テスト

第2章 セクシュアル・ハラスメント

- レッスン1 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)とは
- レッスン2 セクシュアル・ハラスメントの種類
- レッスン3 セクシュアル・ハラスメントの事例

確認テスト

第3章 ハラスメントのない環境づくり

- レッスン1 ハラスメントの加害者にならないためのポイント
- レッスン2 ハラスメントの被害者になってしまいそうなときは

総合テスト



大学教職員のためのパワハラ対策 (職員向け)

目次

イントロダクション

セルフチェック

(職場でパワハラ・セクハラをしていませんか?)

第1章 パワー・ハラスメント

- レッスン1 パワー・ハラスメント(パワハラ)とは
- レッスン2 パワー・ハラスメントの6類型
- レッスン3 パワー・ハラスメントの影響
- レッスン4 パワー・ハラスメントの事例

確認テスト

第2章 セクシュアル・ハラスメント

- レッスン1 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)とは
- レッスン2 セクシュアル・ハラスメントの種類
- レッスン3 セクシュアル・ハラスメントの事例

確認テスト

第3章 ハラスメントのない環境づくり

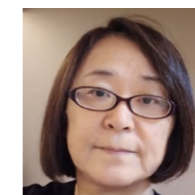
- レッスン1 ハラスメントの加害者にならないためのポイント
- レッスン2 ハラスメントの被害者になってしまいそうなときは

総合テスト

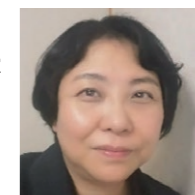


監修者コメント

自分が学生時代に受けてきた教育や指導をそのまま行っている、この頃では「ハラスメント」として問題になる可能性もあります。この機会に、よりよい大学教育やよりよい研究環境とはどういふものなのかについて、今一度考えてみませんか。



広島大学ハラスメント相談室
教授(社会学)
NPO法人
アジア女性センター理事長
横山 美栄子



広島大学ハラスメント相談室
准教授(社会学)
NPO法人
全国女性シェルターネットワーク共同代表
北仲 千里

※ 第1章 (色枠内)は教員向けと職員向けで内容が異なります。各々に適した事例紹介や学習内容を展開しています。

教職員eラーニング研修なら、ネットラーニング



教職員研修
eラーニング
コースガイド

詳しくは下記取扱店または株式会社ネットラーニングへ

ネットラーニング 教職員eラーニング研修

検索



NetLearning[®]

株式会社ネットラーニング

教育事業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25
西新宿プライムスクエア9F
TEL : 03-5338-3011 FAX : 03-5937-0222
E-mail : edu_sales@nl-hd.com

【取扱店】